

「基地があると

住民は危険に」

伊弁護士・サビアさん講演

国連の「平和への権利宣言」制定に尽力したイタリ

ア人弁護士ミコル・サビア

さんⅡ写真Ⅱが10月31日、

那覇市の県男女共同参画セ

ンターているるで講演し

た。約100人が耳を傾け

る中、ヨーロッパを中心に

米軍基地の歴史や現状を語

り「米軍基地があると、よ

り軍事的な緊張が高まり住

民が危険にさらされる」と

指摘した。

サビアさんによると現

在、世界には800もの米軍基地が存在するといわれているが、公表されていない小規模のものもあり、正確な数は分かっていない。サビアさんは判明してい



る分を記した地図を示し、中国を取り囲むように沖縄や韓国などに、ロシアを取り囲むようにヨーロッパに基地が置かれている現状を説明。「米国は自国の遠くに基地を置くことで安全を守り、支配力を強めている」と批判した。

基地が引き起こす環境汚染や事件事故の発生、反対住民の集会・結社の自由の侵害などの問題点を述べ「米軍基地は新しい植民地主義の始まり。連帯し、住民の人権を守るという視点を徹底していくのがいい」と語った。